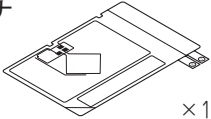
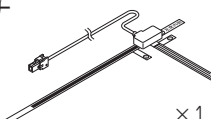
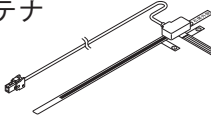
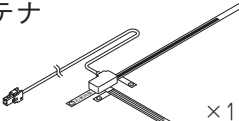
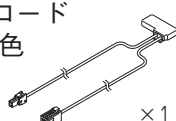
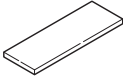
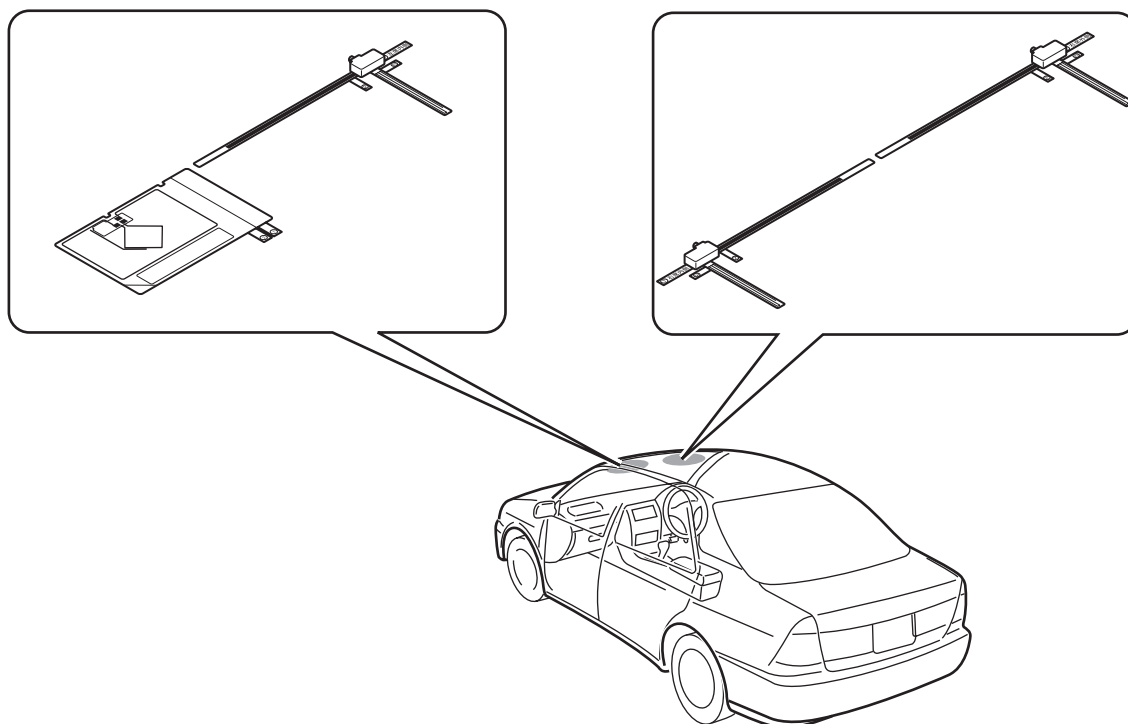
4×4デジタルTV/GPS一体型 フィルムレスアンテナキット

DTVF12

取付説明書

EF-00010

お客さまへのお願い

- この説明書では、載せ替え用TVアンテナキットの取り付けについて説明しています。ナビゲーション本体の取り付けについては、ナビゲーション本体または取り付けキットの「**取付説明書**」を参照して下さい。
- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書および「**取付説明書**」(**ナビゲーション本体または取り付けキットに同梱**)をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 安全運転のため、ご使用の前に、この説明書および「**取扱説明書**」(**ナビゲーション本体に同梱**)、「**取付説明書**」(**ナビゲーション本体または取り付けキットに同梱**)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「**取扱説明書**」および「**取付説明書**」は、ECLIPSEのWebサイト内「お客様サポート」(http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/)からダウンロードいただけます。

取付概要図

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

❶フィルムアンテナ（左席外側） ×1	❷フィルムアンテナ（左席内側） ×1	❸フィルムアンテナ（右席外側） ×1
❹フィルムアンテナ（右席内側） ×1	❺GPS・TVアンテナコード（左席外：緑色／黒色コネクター） ×1	❻ハーネス固定テープ ×2
❼クリーナ ×1		

※❷、❸、❹フィルムアンテナは形状がよく似ているため、間違わないように必ずハクリ用タブに記載された貼付位置表示を確認してください。

※❷、❸、❹フィルムアンテナを取り出す際、決してコードをひっぱらないでください。
フィルムアンテナに傷をつけないよう慎重にゆっくりと厚紙を開いてフィルムアンテナを取り出してください。
（厚紙を開いた後に厚紙の点線部分を折り曲げると容易に取り出せます。）

●作業の進め方

1）構成部品の確認　（☞ 構成部品）
2）バッテリーの⊖端子を外す
3）接続を確認する　（☞ 本体または取り付けキットの「取付説明書」）
4）フィルムアンテナを取り付ける　（☞ フィルムアンテナ取り付け上のご注意）
5）アンテナコードを配線する
6）メインユニットを取り付ける　（☞ 本体または取り付けキットの「取付説明書」）
7）バッテリーの⊖端子を元に戻す

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。

⃠：してはいけないことを表しています。

：注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス　この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠警告

❗ **本機は DC12V ⊖アース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。

❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。**
プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

⃠ **本機を次のような場所には取り付けないでください。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。

⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

⃠ **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

⃠ **本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。

❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⃠ **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

⃠ **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

⃠ **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**
ショートにより火災、感電の原因となります。

❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

⚠警告

❗ **必ず付属の部品を指定通り使用してください。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗ **取付説明書で指定された通りに接続してください。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠注意

❗ **本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

⃠ **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

⃠ **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

⃠ **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

⃠ **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

❗ **コードが金属部に触れないように配線してください。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗ **コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

⃠ **コード類を決して途中で切断しないでください。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⃠ **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

⃠ **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電や怪我の原因となることがあります。

❗ **本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●アンテナ取り付け上のご注意

注意

●フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。

●取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
●フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
●フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。

アドバイス

●フィルムアンテナは、付属のクリーナーで貼付位置の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから貼り付けてください。
●気温が低い(20℃以下)時は、フィルムアンテナの粘着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
●フィルムアンテナは、必ずフロントガラス上部の指定された位置・寸法内に貼り付けてください。指定の場所以外に貼り付けた場合、性能確保できません。左ハンドル車の場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。
●フィルムアンテナを車両のピラー等の金属に近づけて貼り付けると受信感度が低下する場合があります。
●車両のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。
●ワイパー動作やエアコン用モーターなどから出るノイズにより映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
●電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところなどの電波状況の悪い場所では、映像や音声が乱れる場合があります。
●フロントガラスの材質・表面処理等により、電波の受信が出来ない場合や、受信感度が低下する場合があります。
(例：熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのフロントガラスの場合や、ミラータイプのカーフィルムを貼っている場合。「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」は、熱線だけでなく電波も反射するため、フィルムアンテナの取り付けはできません。)

フィルムアンテナ取付概要図

❷フィルムアンテナ
(左席内側)
コードが車両部品や可動部にかみ込んだり断線しないように配線する

❹フィルムアンテナ　&　❸フィルムアンテナ
(右席内側)　(右席外側)
ブレーキペダルやアクセルペダル等運転操作のじゃまにならないようにし、コードが車両部品や可動部にかみ込んだり断線しないように配線する

GPSアンテナ部

❶フィルムアンテナ
(左席外側)

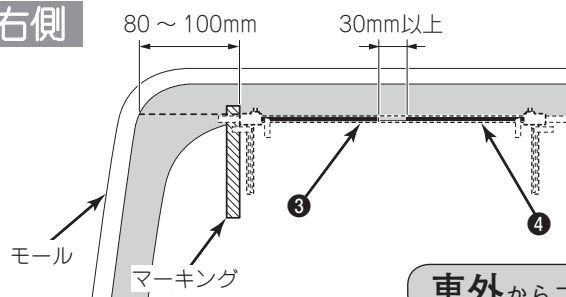
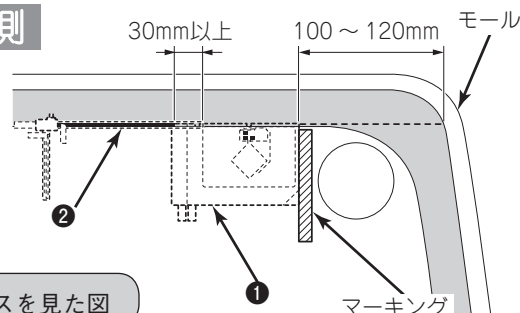
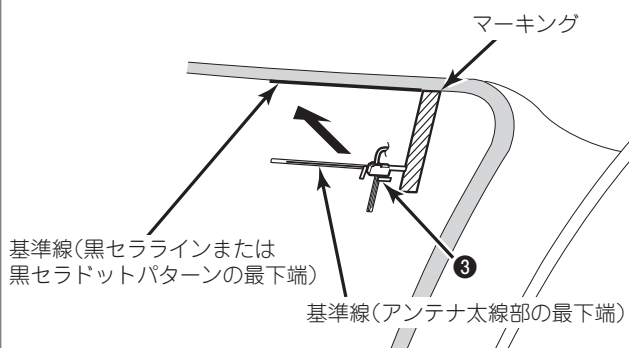
コード配線時は、内装トリムを取り外します。(右側も同様)

取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります。)

❺GPS・TVアンテナコード
(左席外側：緑色／黒色コネクター)
コードが車両部品や可動部にかみ込んだり断線しないように配線する

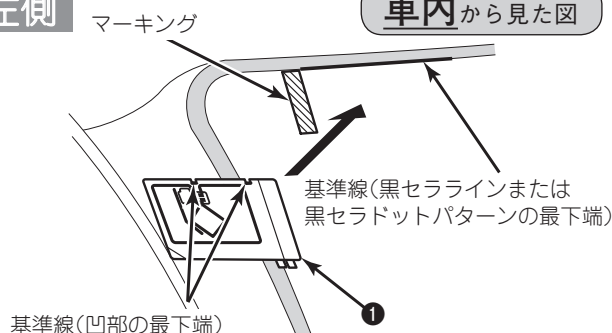
●アンテナの取り付け及びアンテナコードの配線について

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

フィルムアンテナの貼付寸法　●貼付位置に障害物等がないことを確認してください。

① 上図の寸法に従い、アンテナの貼付位置２箇所をテープ等でマーキングする。

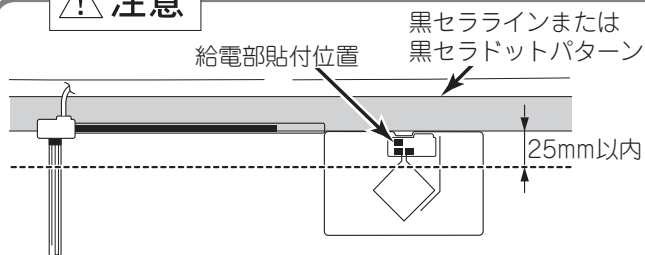
② ❸フィルムアンテナ(右席外側)の貼付位置を確認する。

●車室内からフロントガラスにフィルムアンテナを当て、フィルムアンテナ太線部の下端を黒セララインまたは黒セラドットパターンの下端に合わせてください。

※1 黒セラライン　　　　：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※2 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

③ ❶フィルムアンテナ(左席外側)の貼付位置を確認する。

●車室内からフロントガラスにフィルムアンテナを当て、フィルムアンテナ上端の凹部を黒セララインまたは黒セラドットパターンの下端に合わせてください。

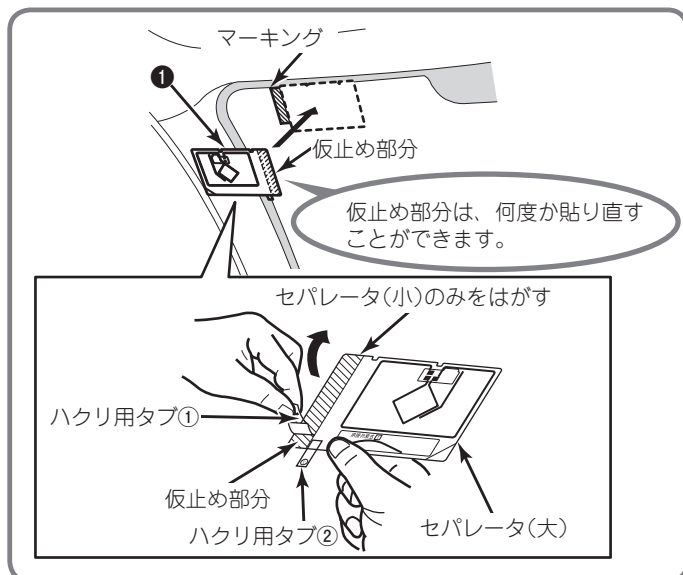
※1 黒セラライン　　　　：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※2 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

⚠注意

※図は左側です

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナを貼付位置に合わせ、給電部貼付位置下端が黒セララインまたは黒セラドットパターンより25mm以内になっている事を確認してください。

アドバイス

- ●黒セラの形により上図の貼付位置に合わせられない場合は、フロントガラス上端とアンテナが平行になるよう取り付けてください。
- ●必ず上記の手順に従い、貼付位置に問題がないことを確認してから次の手順に進んでください。
- ●フィルムアンテナのセパレータおよびフィルムシートは、まだはがさないでください。
- ●内側のフィルムアンテナは、マーキングの必要はありませんが、貼付位置は事前に確認してください。
- ●フィルムアンテナは、黒セラ及び黒セラドットにかかって取り付けても問題ありません。
- ●フィルムアンテナは、車検証や検査証と重ならないように取付位置を決めてください。
- ●テープは、フロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

2 ❶フィルムアンテナ(左席外側)を仮止めする

① フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。

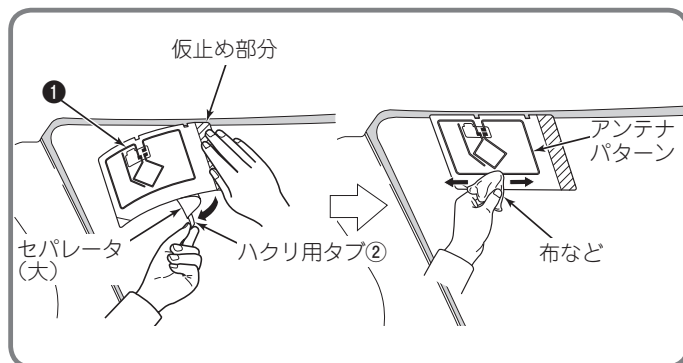
② フィルムアンテナからセパレータ(小)をはがす。

③ マーキングに合わせ、フロントガラス(室内側)に仮止めする。

●仮止め部分を布などでこすって固定してください。

⚠注意

セパレータ(大):ハクリ用タブ②側は、はがさないでください。フィルムアンテナの仮止めをする前にセパレータ(大)をはがすとフィルムアンテナを正しく貼ることができません。

3 ❶フィルムアンテナ(左席外側)をフロントガラスに貼り付ける

●シワや傷がつかないようにフィルムシートの上からアンテナパターン部を数回程度こすってください。

セパレータ側にアンテナパターンが残った場合

●セパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。
●初めはフィルムシート側にアンテナパターンがあっても、途中からセパレータ側に残る可能性があります。その場合もセパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。

① フィルムアンテナからセパレータ(大)をはがす。

●仮止め部分を手で押さえながらセパレータ(大)をはがしてください。
●アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ(大)をゆっくりはがしてください。
●セパレータ(大)を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

② フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。

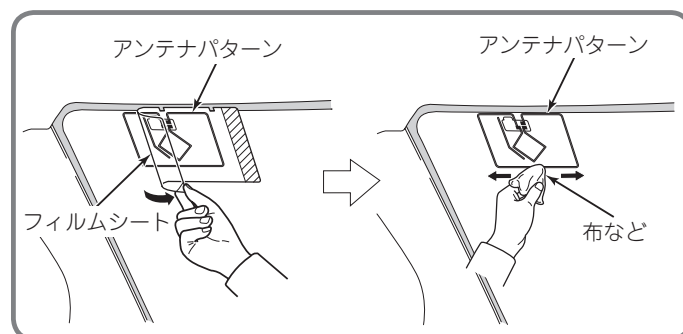
③ フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

⚠注意

●アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因になります。
●フィルムアンテナは貼り直しできません。

アドバイス

❶フィルムアンテナの給電部貼付位置を黒セラまたは、黒セラドットの上に貼らないでください。黒セラまたは、黒セラドット部への貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時に、はがれないよう注意してください。

4 フィルムシートをはがす

① フィルムシートを角から180°折り返すようにゆっくりと矢印方向にはがす。

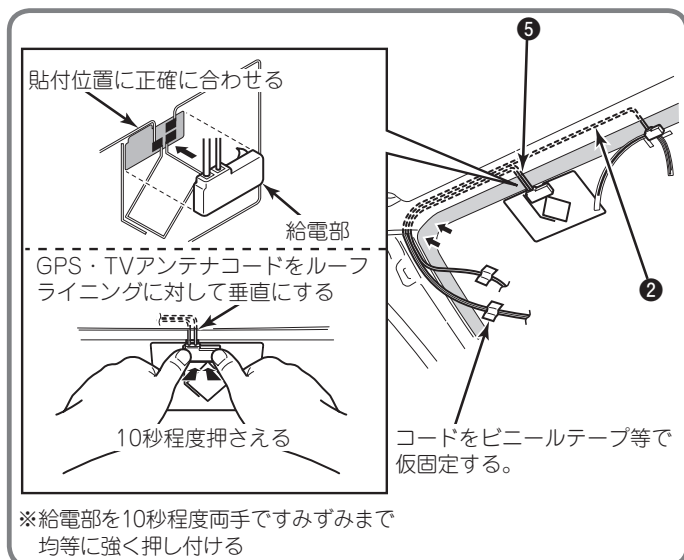
●アンテナパターンがフィルムシート側に残る場合は、手順***3***の③からやり直してください。

② アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。

●アンテナパターンにシワや傷がつかないように注意して作業を行ってください。
●マーキングしたテープを取り外してください。

フィルムシート側にアンテナパターンが残った場合

●フィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。
●初めはフロントガラス側にアンテナパターンがあっても、途中からフィルムシート側に残る可能性があります。その場合もフィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。

5 GPS・TV アンテナコードの給電部を❶フィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

① 給電部をフィルムアンテナの貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。

② 給電部を、約10秒間両手で均等に強く押し付ける。

③ GPS・TVアンテナコードをルーフライニング内に収める。

④ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフライニングに対して垂直になるように指で調整する。

⑤ フィルムアンテナコードがルーフライニングに対して垂直になっている事を確認する。

アドバイス

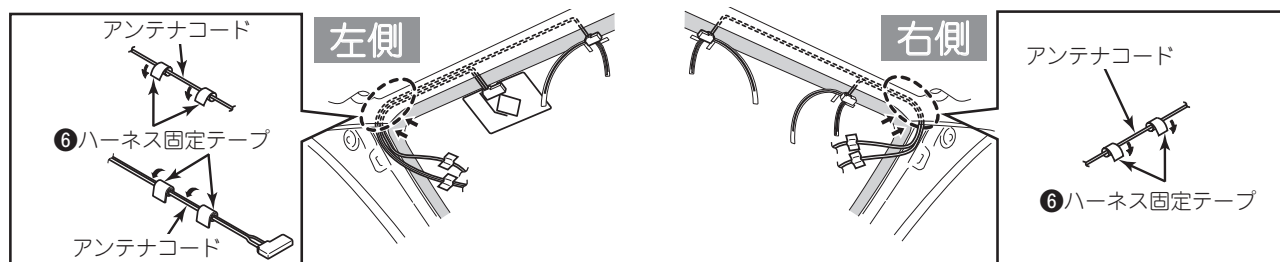
●粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。
●給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。

6 ❷フィルムアンテナのコードをルーフライニング内に収める

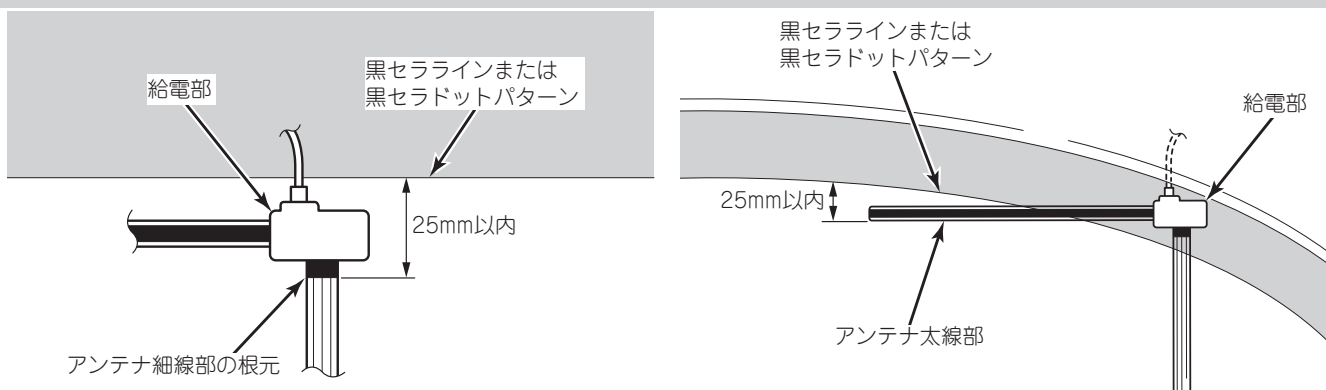
① ❷フィルムアンテナのコードをルーフライニング内に収める。

●❸、❹フィルムアンテナのコードも同様に作業を行ってください。

アドバイス

●アンテナコード：強く引っぱったり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。
ルーフライニングからはみ出す場合は､ハーネス固定テープを巻き付けてルーフライニング内に収めてください。

●ルーフライニング：無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。

⚠ 注意

●国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部、アンテナ細線部根元の黒い部分およびアンテナ太線部が黒セララインまたは黒セラドットパターンより25mm以内に収まるよう貼り付けてください。

アンテナ太線部は、黒セララインまたは黒セラドットパターン内への貼り付けを推奨します（☞手順7）。ただし、上図の例のように、やむを得ず黒セララインまた黒セラドットパターンからはみ出す場合でも、25mm以内に収まっていれば問題ありません。

7 ❸フィルムアンテナ(右席外側)及び❷、❹フィルムアンテナ(左・右席内側)をフロントガラスに貼り付ける

① アンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。

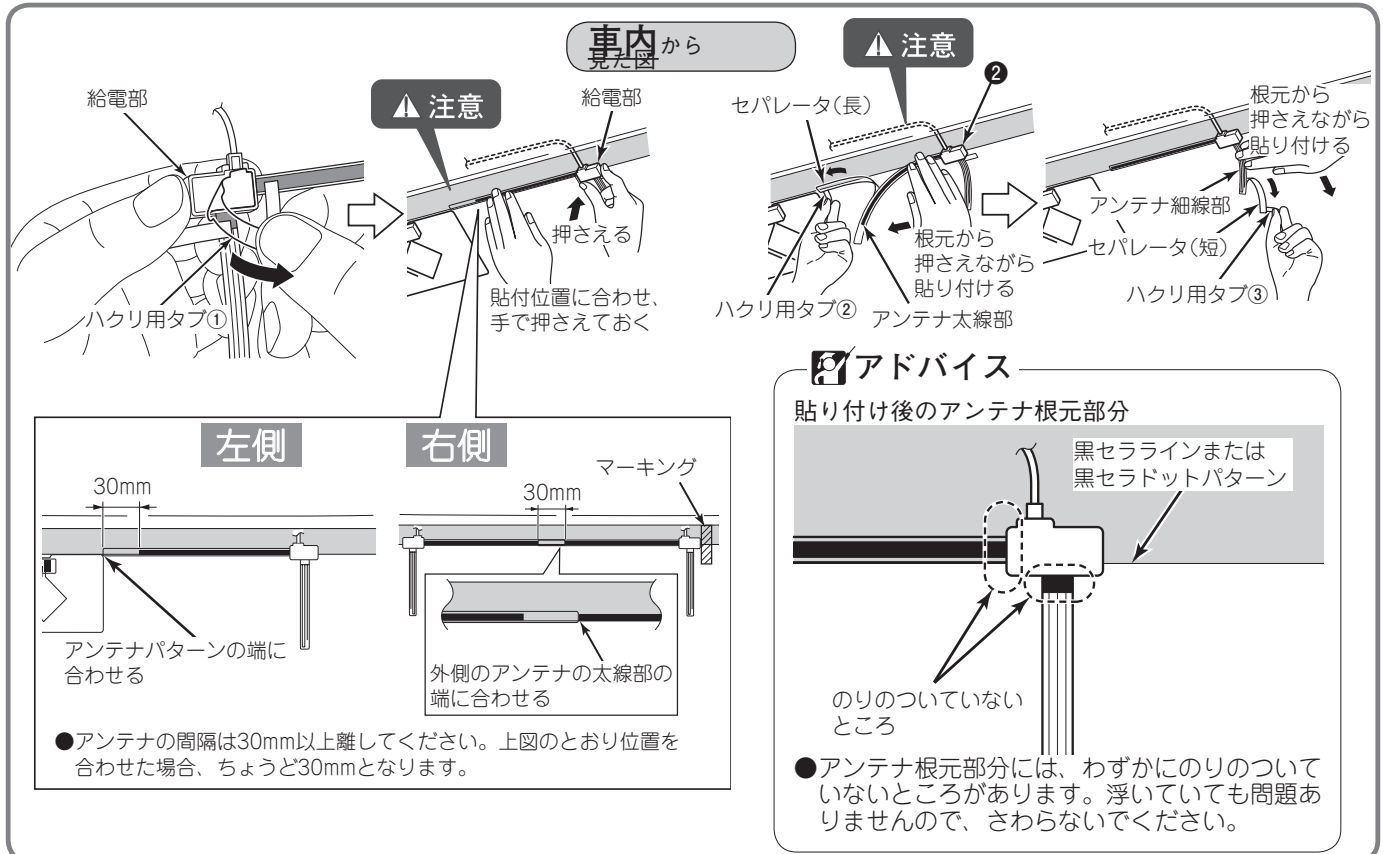
② フィルムアンテナからセパレータ(ハクリ用タブ①)をはがす。

③ 貼付位置に合わせ、フロントガラス(室内側)の黒セララインまたは黒セラドットパターン内に給電部を貼り付ける。

④ アンテナ太線部を黒セララインまたは黒セラドットパターン内に貼り付ける。

●セパレータ(長)(ハクリ用タブ②)を少しずつはがしながらフィルムアンテナを黒セララインまたは黒セラドットパターン内に貼り付けてください。

⑤ アンテナ細線部をフロントガラスに貼り付ける。

●セパレータ(短)(ハクリ用タブ③)を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

8 ❺GPS・TVアンテナコードおよび❷、❸、❹フィルムアンテナコードを配線する

① ❺GPS・TVアンテナコードおよび❷、❸、❹フィルムアンテナのコードをハーネス固定テープで固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。

② アンテナコードのコネクタをナビゲーション本体に接続する。

●車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープを貼り付けてください。

●車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。

●あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。

⚠ 警告	コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。